

プロレタリア通信

別冊 NO.6

1958・12・10

かゝる人々の革命を以て革命的左翼の独立性とした。そのために、我々は改良主義者と我々本黨を以ての統一はフルジタアジとの同盟を結成し、我々の革命の目的は、フルジタアジを今更にするものであることをかくさない。さういふ今日、日本共産党は日本フルジタアジの最もすぐれた革命の勢力を含み、最も鋭敏な部分に基礎をおいてゐる。それ故に我々が共産党との即時の積極的交渉を主張するとするならば、我々の目的は全く切実な立場にあるに違いない。しかし我々はその党が革命的に再生するとの幻想にも無縁である。我々は一枚紙の団体の神話に服することなく、その党とけがれて、守ることなく革命的な共産党を我々本黨から切り出すために我々は最も効果的な具体性に充じた運動をその党の内部においても行うであらう。組織は空虚のやうに成長しない。正しい組織、正しい方針のみでは成長しない。労働者階級の半いが生じるの理由は、最も労働者の、最も所屬的だたえつ、半分の先頭になつて半分のことによつてその党は革命的方針を消滅する労働者にこたえることが出来る。

我々は特に一切の権威主義から解放され、限らない情熱と行動力を持つべき同志諸君に訴ふる。スルードン・バイドリン等々の小ブルジョア社会主義者と交際し、真のフルジタアジの理論を打ち立てたマルクスの事業もまたあり、シユゲイズムに武装された組織を作りあげたレーニンの事業もまた、彼等の青年時代においてその基盤が築かれたのであつた。新しい革命的政変は所屬斗争の劇的な展開が許される時に、革命的な方針で、最も労働者の多数を獲得し、それから我々は革命的な変遷として成長するのであつた。

その意識的推進性として我々は「共産主義同盟」(仮称)の結成によつて事業に進行に取り組むであらう。我々は革命的新聞、パンフレット、スターリン主義者の手によつていんげいされた革命的文書を発行するのであつた。

我々は更に革命的理論を学び、革命運動の教訓から学び、すでに生命を失ひドグマと化した「現代マルクス主義」に対し、真のマルクス主義をもつて対置するのであつた。我々共産党、芸術家、婦人の革命的組織の建設にも取り組むであらう。

我々の事業は偉大である。だが我々は前進するのであつた。